取扱説明書	RN−015FN RN−015FY　<R−483PMS−101>	888 888	5083 3083	13011

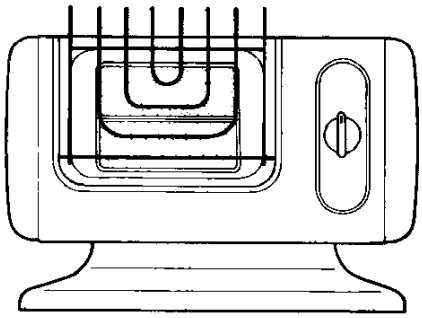
型式名 R-483PMS-101

保証書付

取扱説明書

ガス赤外線ストーブ

RN-015FN
RN-015FY



このたびは、**ガス赤外線ストーブ**をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

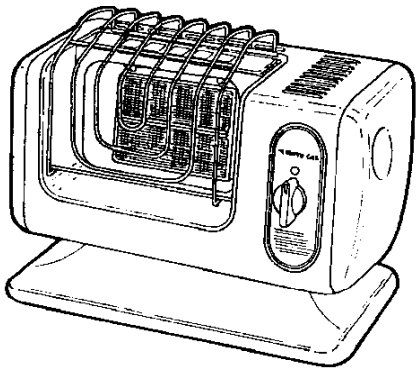
- ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくお使いください。
- この取扱説明書のP18が保証書になっています。内容をご確認のうえ、大切に保存してください。

もくじ

	ページ
●機能と特長	1
●各部の名称とはたらき	2
●設置場所および周囲の防火措置	3
●接続の方法	4
●操作のしかた	5
●使用上のご注意	8
●お手入れのしかた	10
●故障かな？と思ったら	12
●アフターサービスについて	13
●長期間使用しない場合	14
●仕　様	15
●保 証 書	18

TOKYO GAS

機能と特長



放射暖房

赤外線による放射効果の高い暖房器です。

火力切替付

暖房するお部屋の大きさ、室温に応じて能力を全開・半開に切替えることができます。（P.6参照）

簡単操作

器具栓つまみ1つで点火、消火などの操作ができます。

立消え安全装置付

使用中にゴム管を踏んだときなど、万一炎が消えたときに、自動的にガスを止める安全装置付です。

不完全燃焼防止装置付

酸欠などによる不完全な燃焼を防止する安全装置付です。(自動的に消火します)

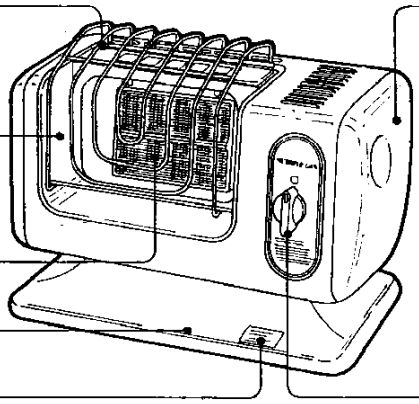
転倒時ガス遮断装置付

機器が転倒したり、激しい衝撃が加わったときなどに作動して消火する安全装置付です。（P.7参照）

取扱説明書	RN−015FN RN−015FY　<R−483PMS−101>	888 888	5082 3083	13031

各部の名称とはたらき

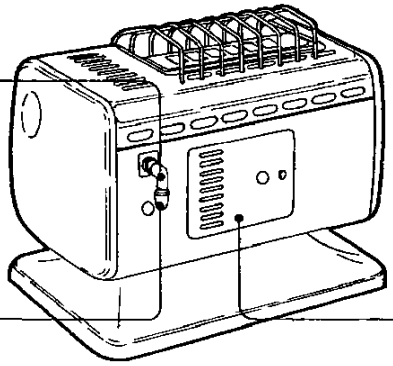
〈正　面〉



銘　板
ガス種を表示してあります。

器具栓つまみ
点火および消火等を行います。

〈背　面〉



ゴム管口
ガスの接続口です。

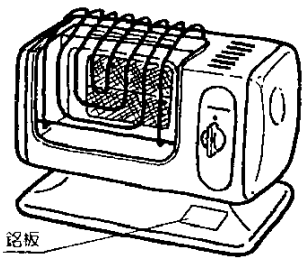
ゴム管口キャップ
接続するときはずしてください。

点検用ふた
ふたをあけると空気吸込口があります。
空気吸込口のお手入れのときはずします。

設置場所および周囲の防火措置

設置前のご注意

- 機器脚前面の銘板に表示してあるガス種と使用するガス（ガスグループ）の種類が適合していることを確認してください。
- 表示以外のガス（ガスグループ）では使用できません。

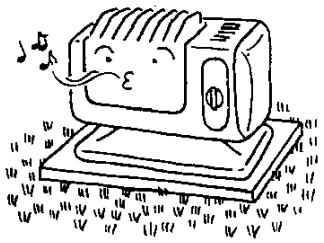


R-483PMS-101
都市ガス　13A用
ガス消費量　1800kcal/h
89-08-000010
リンナイ株式会社

(RN-015FN.13Aの場合)

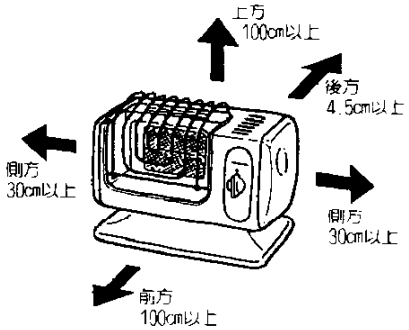
設置場所

- 機器は丈夫で水平な場所に設置してください。
  じゅうたんの上で使用する場合は、じょうぶな台の上に水平にのせてください。
- たなの下など落下物の危険のある所では使用しないでください。



周囲の防火措置

- 火災予防上右図に示す範囲に可燃物（木製の壁、カーテン、家具など）がないよう、機器の周囲は十分な間隔をとってください。
  周囲に可燃物がある場合は、機器の設置場所を変えるか、または可燃物を移動して十分な間隔をとってください。



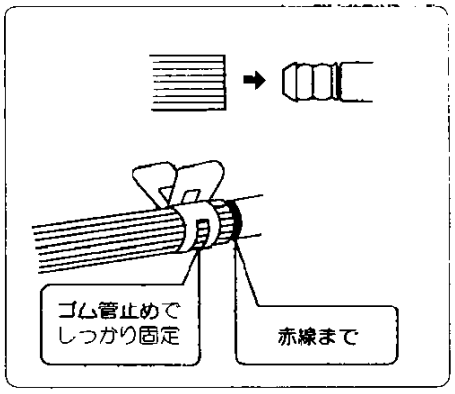
取扱説明書	RN−015FN RN−015FY　<R−483PMS−101>	888 888	508 308	23 83	13051

接続の方法

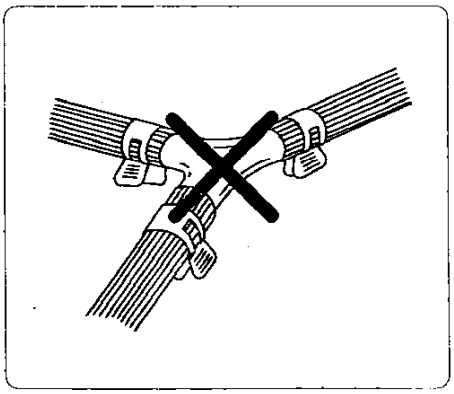
ガスの接続

●ゴム管は機器、お部屋のガス栓の赤線まで十分差し込み**ゴム管止め**でしっかり止めてください。

●ゴム管はできるだけ短くしてご使用ください。



●ゴム管の継ぎたしや二又分岐は行わないでください。



●**市販の補助用具について**
市販の迅速継手や化粧ゴム管などを使用する場合は、この機器に合わないことがありますのでご購入前にお買い求めの販売店か、もよりの東京ガスへご相談ください。

操作のしかた

点火前の確認と準備

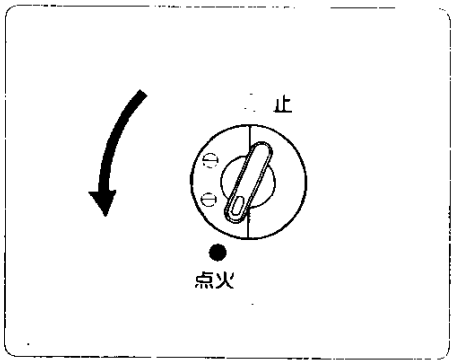
●ガスのゴム管が確実に接続されていることを確認したのち、お部屋のガス栓を全開にします。

操作の手順

点　　火

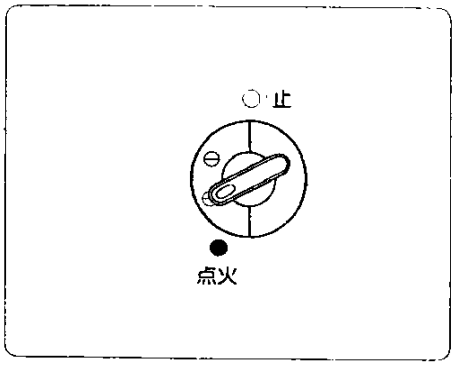
1 器具栓つまみを途中で止めずに点火の方向へゆっくりいっぱいに回します。

スパークが飛びバーナに火がつきます。



●バーナに点火したことを確かめてから器具栓つまみを15秒程持ち続けた後に手を離します。

手を離すと、全開「⊖」の位置まで戻ります。



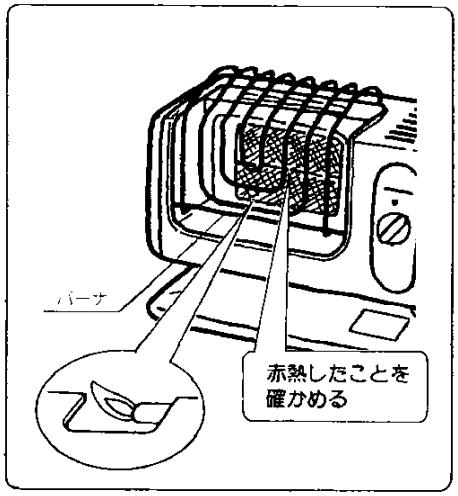
ご注意

●点火のときは、機器に顔を近づけないでください。
●はじめて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しないことがあります。
この場合は再度点火操作を繰り返してください。

操作のしかた

●バーナ表面が赤熱したことを確かめます。

●点火しなかったり、器具栓つまみから手を離したとき、バーナの火が消える場合は、すぐに器具栓つまみを一旦もとに戻してから、あらためて点火操作を繰り返します。



ご注意

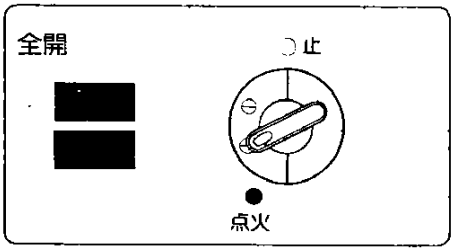
●**再点火**
消火後すぐ点火するときは数秒待って行ってください。

●常時燃焼型パイロットバーナを採用していますので、機器をご使用中はパイロットバーナが燃焼し続け消火しません。

火力切替

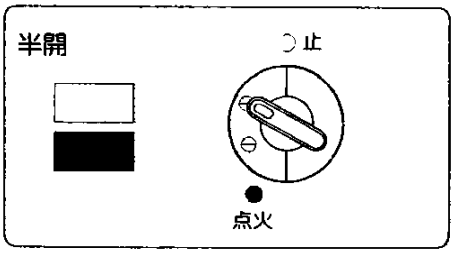
2 **火力切替は、器具栓つまみを操作して能力を切替えます。**

●**「全開」でご使用の場合**
点火後器具栓つまみより手を離しますと、全開「⊖」の状態になります。



●**「半開」でご使用の場合**
一旦点火操作を行い、メーンバーナへの点火を確かめてから器具栓つまみを半開「◓」の位置に戻します。

●**「半開」から「全開」にする場合**
器具栓つまみを全開「⊖」から半開「◓」に回します。



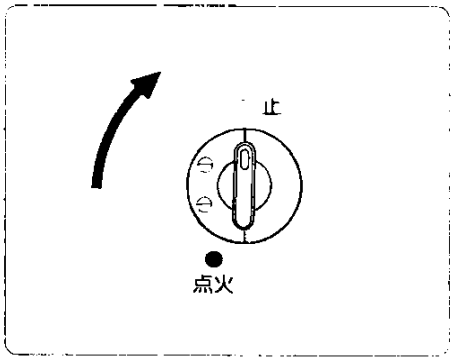
ご注意

●この機器は、全開・半開の位置で使用する構造になっているため、器具栓つまみを全開・半開の途中で止め手を離すと「止」の方向へ戻ってしまいます。

操作のしかた

消　　火

3 器具栓つまみを「止」の位置へ戻します。



転倒時ガス遮断装置

転倒時ガス遮断装置とは

●ご使用中誤って機器を転倒させたり、激しい衝撃を加えたりしたときに、自動的にガスを止める装置です。

転倒時ガス遮断装置作動時の復帰方法

●機器を水平の位置に戻した後、器具栓つまみを「止」にもどし、もう一度点火操作を行ってください。

使用上のご注意

特に注意していただきたいこと

1．ガス事故防止	●ゴム管はガス用ゴム管（検査合格またはJISマークなどの表示が入っているもの）を使用してください。ビニール管は絶対に使用しないでください。弾力性がなく、熱に弱く危険です。ゴム管はときどき取り替えてください。ゴム管が古くなりますと、お部屋のガス栓や機器のゴム管口から抜けやすくなったり、ひび割れしてガス漏れの原因になります。 ●使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。
2．ガス漏れには、十分ご注意ください。	●ガス漏れに気づいたときには、すぐにお部屋のガス栓を閉め、窓や戸を全部開き、もよりの「東京ガス」に連絡してください。 ●東京ガスの係員が処置するまでは、換気扇の使用、電源プラグの抜き差し、電気のスイッチの「入・切」、マッチやライターの使用は爆発の危険性がありますので、絶対に避けてください。
3．ガス使用中は換気に十分ご注意ください。	●閉めきった部屋で長時間使用すると、空気中の酸素が減少しますので1時間に1回は換気をしてください。（1時間に1回以上、1分間程度） ●火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。
4．燃えやすいもののそばに設置しないでください。	●カーテンなど、燃えやすいもののそばでご使用になりますと、火災の原因になりますので絶対に避けてください。 ●ヘアースプレーなど引火物を機器の近くで使用しないでください。 ●部屋の出入口など人の通るところでは使用しないでください。転倒の危険があります。
5．やけどには十分ご注意ください。	●使用中、使用直後は機器が熱くなっておりますので手を触れないでください。特に小さなお子様にご注意ください。 ●機器の上にはやかん、鍋などをのせないでください。 ●火をつけたまま、持ち運ばないでください。
6．暖房以外の目的に使用しないでください。	●機器に腰をかけたり、のったりしないでください。 ●過熱・異常燃焼などによる焼損・火災などの危険性があります。
7．転居されるとき	●ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガス種を確認のうえ、もよりの「東京ガス」又は転居先のガス会社に相談し、必ず調整したうえでご使用ください。この場合、費用は保証期間内でも有料となります。

使用上のご注意

使用上注意していただきたいこと

1．使用時の注意	●お部屋のガス栓は、必ず全開で使用してください。絞りますと放射効率が悪くなるだけでなく、不完全燃焼の原因となります。
2．使用場所の注意	●理・美容院、塗装・メッキ工場、コピー機械のある事務所などスプレーや化学薬品を使用する場所および綿ぼこりの多い場所では使用しないでください。
3．異常時の注意	●異常と思われたときはP12の「故障かな？と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはもよりの「東京ガス」にご連絡ください。

お手入れのしかた

日常の点検・手入れ

●点検・お手入れの前には、必ずお部屋のガス栓を閉めてください。

●点検・お手入れのときは、機器が十分に冷えてから行ってください。

●万一の傷などを防ぐためにも手袋をご使用ください。

ゴム管の点検

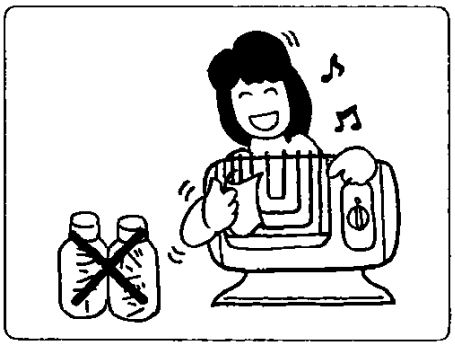
ゴム管は、ゴム管口の赤線まで十分差し込みゴム管止めでしっかり固定してありますか、機器に接触していませんか。

外装のお手入れ

●やわらかい布をぬるま湯でぬらして、よくしぼってからふいてください。

ご注意

●ベンジン、シンナーなど揮発性のものやクレンザーなどは絶対にご使用にならないでください。塗装面やプラスチック部分を傷めます。



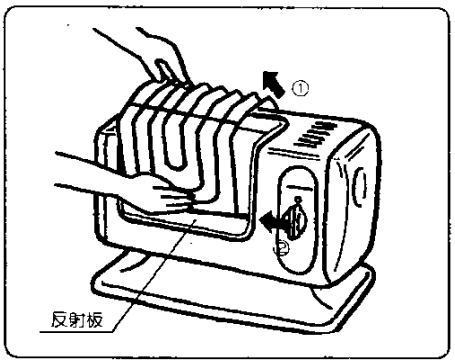
反射板のお手入れ

●反射板は、ガードをはずしてお手入れをしてください。
反射板にほこりがたまったままでご使用になりますと暖房効果が落ちるばかりでなく火災などの危険があります。

ガードのはずし方

①ガード上部を持ち上げ手前に引く。
②左側へいっぱい押して右側を手前に引くとはずれます。

●反射板はかわいた布でふいてください。



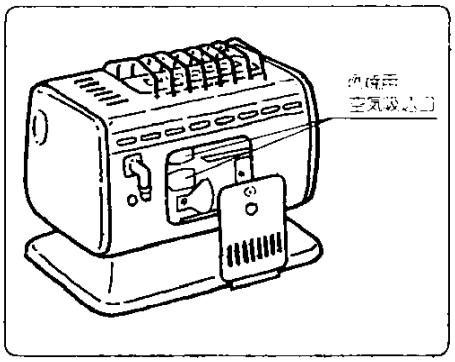
ご注意

●クレンザーなどは絶対にご使用にならないでください。キズになり、暖房効果が落ちる原因になります。

お手入れのしかた

空気吸込口のお手入れ

- シーズン初めのご使用前や、その後1ヵ月に1度はバーナの燃焼用空気吸込口にたまったほこりやごみを掃除機で取り除いてください。
- お手入れは、機器背面の点検用ふたを+ドライバーで取りはずして行ってください。
  掃除後は必ず点検用ふたを元通りに取り付けてください。



故障かな？と思ったら

次のことを調べてください

現象	点検事項
点火しない、また点火しにくいとき	●お部屋のガス栓が全開になっていますか。 ●ゴム管の折れ、つぶれはありませんか。 ●お部屋のヒューズ付ガス栓が作動していませんか。
バーナが赤熱しない 使用中消火しやすい	●お部屋のガス栓が全開になっていますか。 ●ゴム管の折れ、つぶれはありませんか。 ●空気吸込口にほこりが詰っていませんか。

こんな場合は故障ではありません

現象	理由と処置
点火操作後、手をはなすと消火してしまう。	●安全装置を働かせるために15秒程の時間が必要です。 器具栓つまみを「点火」の位置で15秒程保持してください。
点火時にバーナ表面の赤熱具合が、上下違う。	●燃焼が安定するまでの間です。数分後にほぼ同一になります。
点火初期に「プップッ」と小さい音がする。	●燃焼が安定するまでの間です。数分後に音はなくなります。
器具栓つまみを回すのがかたい。	●外気条件によって起こりますが、問題ありません。
使用中に「シュー」と音がする。	●ガスの通過音で、異常ではありません。
点火、消火直後に「ピシピシ」と小さい音がする。	●バーナの熱による金属の伸縮音です。しばらくすると音はなくなります。

以上のことをお調べになってもなお、異常のあるときやおわかりにならないときは、お買い上げの販売店またはもよりの「東京ガス」にご連絡ください。
不完全な処置は事故のもとになります。

アフターサービスについて

サービスを依頼される時は

●まず、P12の「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはちかよりの「東京ガス」にご連絡ください。

●アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。

(1) お客様名、住所、電話番号、道順

(2) 品　　名……RN−015FN　機器コード　888 5082
　　RN−015FY　機器コード　888 3083

(3) 現　　象……点火しないなどできるだけ詳しく

(4) 訪問ご希望日

保証について

●取扱説明書のP18が保証書になっています。

●必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

●無料修理期間経過後の故障修理については、故障修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は通商産業省の指導により、当製品の製造打切り後6年です。
なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

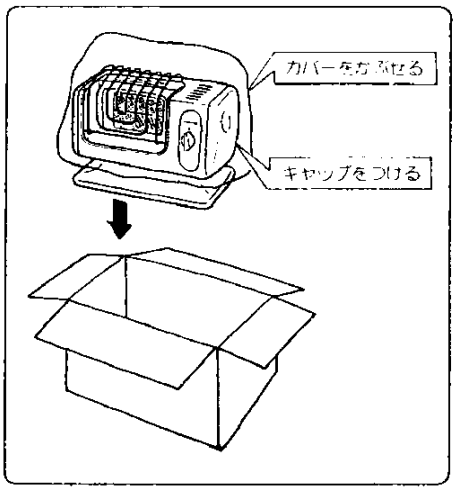
長期間使用しない場合

- お部屋のガス栓を閉め、ガス用ゴム管をガス栓よりはずしてください。
- 特にガス通路部分にほこりが入って通路を詰まらせないように機器のゴム管口は、必ずキャップをしてください。

1 お手入れのしかた（P10,11参照）に従ってお手入れしてください。

2 ゴム管口にキャップをかぶせた後ビニールカバーを本体にかぶせてください。

- 買ったときの段ボール箱へ入れるとほこりにならずご便利です。
（梱包のしかたは箱上面の折り返し部に表示してあります）
- 保管は、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。



取扱説明書	RN−015FN RN−015FY　＜R−483PMS−101＞	888 888	5083 3083	13161

仕　様

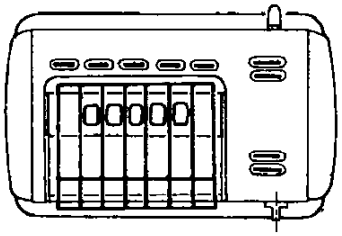
品名		RN-015FN, RN-015FY
型式名		R-483PMS-101
種類	設置の形態	すえ置形
	給排気方式	開放式
	放熱方式	放射式
点火方式		圧電点火式
暖房の目やす	一般木造	3畳～5畳まで
	鉄筋集合・断熱施工の木造	4畳～8畳まで
外形寸法	高さ	300㎜
	幅	398㎜
	奥行	264㎜
重量		4.7kg
ガス接続		9.5㎜ゞガス用ゴム管
安全装置		不完全燃焼防止装置 立消安全装置 転倒時ガス遮断装置
附属品		取扱説明書

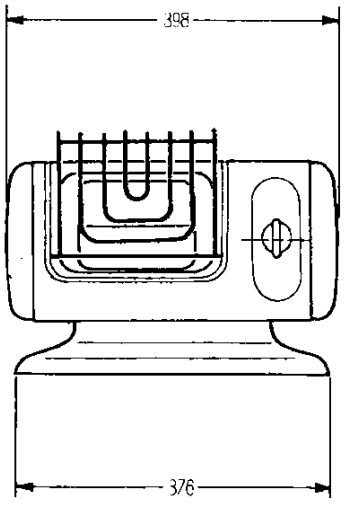
使用ガスグループ	品名	ガス消費量
13　A	RN-015FN	1,800kcal/h
12　A	RN-015FY	1,800kcal/h

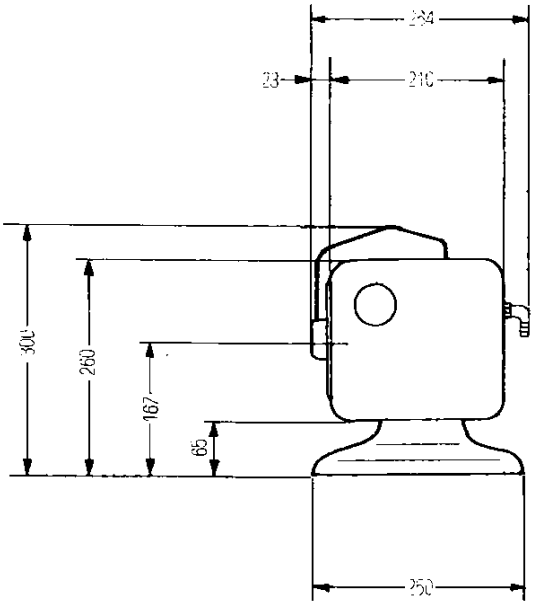
仕　様

外形寸法図

単位：mm







取扱説明書	RN−015FN RN−015FY　<R−483PMS−101>	888 888	5082 3083	13181

保証書

保証書

型式名	R-483PMS-101

品名 RN-015FN, RN-015FY ガス赤外線ストーブ

上記、機器をお買い求めいただきましてありがとうございます。この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用としてご使用になる場合、本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

(1)保証期間はお買い上げの日から3年間とし機器本体を対象とします。
(2)万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。
(3)サービス員が参上した時に本証書をお示しください。
(4)保証期間中でありましても、次の場合には有料修理といたします。
イ.取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合。
ロ.お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障およびいたずら、天災、地震等による故障、その他不可抗力による故障。
ハ.お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに修理された場合の故障。
ニ.機器に表示してある以外のガスでご使用のため故障きする場合。ただし当社都合の場合はのぞきます。
ホ.本証書を紛失された場合。
(5)無料修理などアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの店またはもよりの東京ガス支社、営業所にお問い合わせください。

保証責任者　東京ガス株式会社　〒105　東京都港区海岸1-5の20
電話 代表 03(433)2111

修理記録

年　月　日	修　理　内　容	サービス員印

お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日

販売店名		扱者印	
住所			
電話番号			

お客様へ

1. この保証書をお受取りになる時に販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

型式名	R-483PMS-101

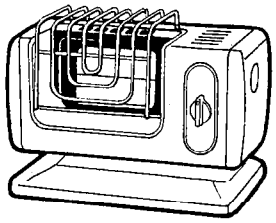
保証書付

機器コード							増設番号	通し番号	仕様番号
8	8	8	5	0	8	2	1	9	1

ガス赤外線ストーブ
取扱説明書

PL法対応

品名 **RN-015FN** 機器コード 8885082
RN-015FY 機器コード 8883083



もくじ

	ページ
安全に正しくお使いいただくために	1
機能と特長	8
各部のなまえとはたらき	9
機器の設置	10
使用方法	12
日常の点検とお手入れ	14
故障かな?と思ったら	16
安全装置が作動したときの処置	17
保管とアフターサービス	18
仕　様	20
寸法図	21
保証書	22

ご愛用の皆様へ

このたびは、ガス赤外線ストーブをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みいただき安全に正しくお使いください。
- この取扱説明書の22ページが保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。
- この機器は国内専用ですので海外で使用しないでください。

TOKYO GAS

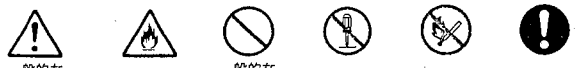
安全に正しくお使いいただくために

この機器を安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表　示	意　味
⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される、および物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

絵表示について次のような意味があります。



⚠危険

●ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気づいたときは

火気禁止

ガス漏れに気づいたときは①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないでください。
炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

必ず行う

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。 ➡ ②窓や戸を開けガスを外へ出す。 ➡ ③お買い上げの販売店またはもよりの「東京ガス」に連絡してください。

⚠警告

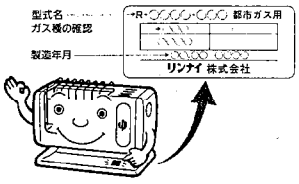
●使用ガスについて

使用ガスを確かめて

確認する

機器本体銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）以外では使用できません。
表示のガス種が一致しない場合は、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険性があり、爆発点火および機器の故障の原因になります。

転居されたときにも、ガスの種類を必ず確認してください。

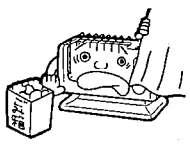


●火災予防

燃えやすいものからは離して設置

発火注意

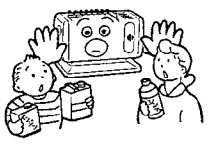
機器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。また、機器を設置の際は、家具・壁・カーテンなど燃えやすいものに近づけないでください。
火災の原因になります。



可燃性ガスの近くで使用しないで

禁止

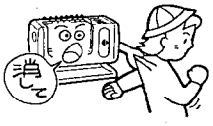
ガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを近くで使用している際は、機器を使用しないでください。
引火・爆発のおそれがあります。



火を消し忘れないで

禁止

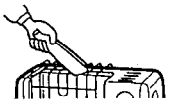
火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。
予期せぬ事故の原因になります。



機器には物を入れないで

禁止

機器の中に紙、布、異物などを入れたりふさいだりしないでください。
不完全燃焼や火災の原因になります。

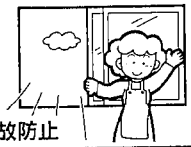


●換気必要

換気のご注意

換気する

使用中は1時間に1～2回、1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどしてお部屋の空気を入れ替えてください。
空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険性があります。



●ガス事故防止

古いゴム管・ガスコードは厳禁

禁止

古くなって、ひびわれたり、差し込み部がゆるんでいるゴム管・ガスコードは、使用しないでください。
ガス漏れの原因になります。必ず取り替えてください。

迅速継手を使用する場合

依頼する

迅速継手を使用しガスを接続する場合、ガス栓のゴム管口により接続具が異なるため、接続はお買い上げの販売店、またはもよりの「東京ガス」に依頼し、正しいものを使用してください。
ガス漏れなどの原因になります。

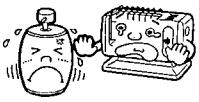
機器コード							機番	番号	連番	号	訂正番号
8	8	5	0	8	2		1	3	2	0	1

●スプレー缶厳禁

スプレー缶を機器の前に置かないで

禁止

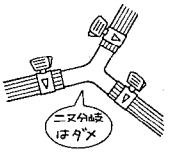
スプレー缶（殺虫剤、ヘアースプレーなど）を機器の前方に置かないでください。
スプレー缶の爆発の原因になります。



ゴム管・ガスコードは継ぎたさないで

禁止

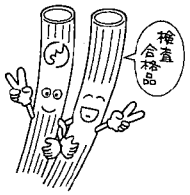
ゴム管やガスコードの継ぎたしや二又分岐は行わないでください。
ガス漏れの原因になります。



ガス接続は指定のものを使用して

必ず行う

ゴム管はガス用ゴム管（検査合格品または、JISマークの入っているもの）を使用してください。また「コンセント」接続の場合は、ガスコード（検査合格品）を使用してください。



●異常時の処置

異常時には

必ず行う

ご使用中に異常な燃焼、におい、異常音がするなどふだんと違った状態になったときや、地震、火災など緊急の場合は、あわてず①～③の処置をしてください。
そのままにしておくと、爆発や火災の原因になります。

①器具栓つまみを閉じる。 ➡ ②ガス栓を閉じる。 ➡ ③お買い上げの販売店、またはもよりの「東京ガス」に連絡してください。

●分解禁止

機器を分解しないで

分解禁止

ガードや点検フタ以外は絶対に分解しないでください。
不適当な分解や組み立ては思わぬ事故のもとになります。

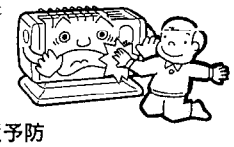
⚠注意

●使用上の注意

やけどに注意

禁止

使用中および使用直後は、機器が高温になっておりますので手を触れないでください。
やけどのおそれがあり危険です。



機器に乗らないで

禁止

機器の上に腰かけたり、乗ったりしないでください。
落下・転倒などにより、ケガの原因になることがあります。

●火災予防

火をつけたまま移動しない

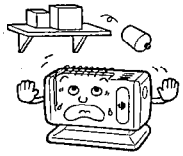
禁止

火のついたまま持ち運びしないでください。
ゴム管やガスコードが抜けたり、折れたりしてガス漏れや異常燃焼の原因になります。また、やけどの原因にもなり危険です。

落下物に注意

禁止

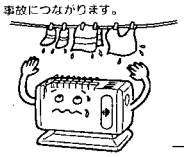
たなの下など、落下物の危険のあるところでは使用しないでください。
火災のおそれがあります。



用途について

禁止

衣類の乾燥など暖房以外の用途には使用しないでください。
衣類が落下して火災になったり、思わぬ事故につながります。



●ガス事故防止

ガス栓を閉じて

ガス栓を閉じる

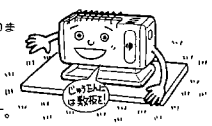
使用後は必ず器具栓つまみを閉じ、消火したことを確かめてください。お出かけや、長時間使用しないときは、ガス栓を必ず閉じてください。

●設置場所

じゅうたんの上で使用する場合

必ず行う

毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は機器の下にじょうぶで不燃性の敷き板などを敷いて水平にしてください。
じかにじゅうたんの上に置くとじゅうたんが変色することがあります。



禁止

また、電気カーペット・床暖房の上には設置しないでください。
機器の重みで電気カーペット・床暖房が故障する場合があります。

特殊な場所は避けて

禁止

乾燥室・温室・動植物の飼育室など、特殊な場所では絶対に使用しないでください。
植物が枯れたり動物が死亡するおそれがあります。

水のかかる場所へ設置しないで

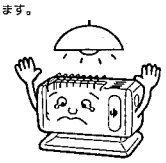
禁止

水のかかる場所には設置しないでください。また、上になべやヤカンなどを乗せないでください。
お湯がこぼれて消火したり、落下してやけどの原因となります。

樹脂製品に注意

禁止

樹脂製の照明器具の下で使用しないでください。
照明器具のかさなどが変形することがあります。

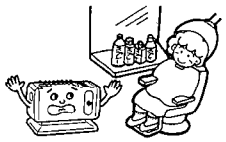


気をつけていただきたいこと

スプレー使用の禁止

禁　止

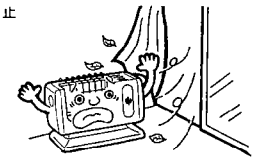
スプレーや化学薬品を使用する場所および綿ぼこりの多い場所（理・美容院や、メッキ・塗装工場など）では使用しないでください。
機器の故障や、有害なガスや腐食性ガスの発生により金属がさびたりする原因になります。



機器に強い風を当てないで

禁　止

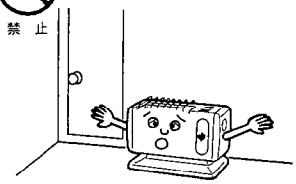
強い風の吹き込む所では使用しないでください。
炎が風で消えることがあります。



ドアの近くに置かないで

禁　止

ドアの近くなどに置かないでください。
機器の転倒ややけどなどのおそれがあり危険です。



結露に注意

換気する

この機器は室内燃焼機器のため、気密の高いお部屋などでは、壁や天井が結露する場合がありますので、換気をしてください。

機器コード	燃焼方式	通風方式	設置場所
8 8 8 5 0 8 2	1	3	2	1	1

機能と特長

このガス赤外線ストーブは、お部屋を快適に暖かくするようにと、次のような特長をそろえました。
ぜひ、あなたのお部屋で活躍させてください。

能力2段切替装置付

お部屋の状態に合わせ、「全開」「半開」の2段階に切り替え経済的に使用できます。

☞13ページ参照

不完全燃焼防止装置付

お部屋の酸素不足などによる、不完全燃焼を防ぐ安全装置付です。
自動的に消火します。

☞17ページ参照

立消え安全装置付

ご使用中に炎が消えてしまったときにガスを止め、生ガスの放出を防止します。

☞17ページ参照

転倒時ガス遮断装置付

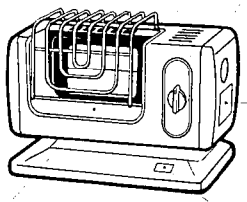
機器が倒れたり、強い衝撃が加わったとき、自動的に消火し事故を防ぐ安全装置付です。

☞17ページ参照

各部のなまえとはたらき

ガス赤外線ストーブの各部のなまえとはたらきをご紹介します。

〈正　面〉



ガード
反射板を掃除するときにはずします。
☞15ページ参照

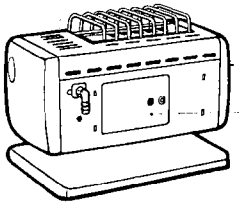
反射板

器具栓つまみ
点火・消火するためのつまみです。
火力切替をするときにも使います。

ご注意ラベル
使用上での注意事項が表示してあります。
ご使用前にお読みください。

銘　板
ガスの種類が表示してあります。
☞2ページ参照

〈背　面〉



ご注意ラベル
使用上での注意事項が表示してあります。
ご使用前にお読みください。
（機器左側面に貼付）

点検フタ
バーナーの空気口の掃除をするときにはずします。
☞15ページ参照

ガス接続口
ゴム管・ガスコードの接続口です。
☞11ページ参照

機器の設置

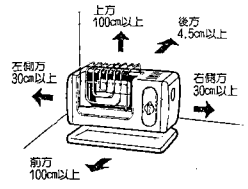
設置前の準備と確認

●梱包を取ります。
各部分のあて紙やテープなど包装部材を取り除きます。
ガス接続口には、輸送・保管時におけるゴミ混入防止のためキャップがついています。
取りはずして使用してください。

設置場所について

●火災予防のために

⚠注意
必ず行う
周囲の可燃物からはじゅうぶん離してください。



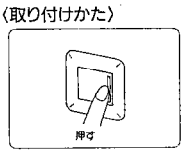
機器の前方は　100cm以上
後方は　4.5cm以上
上方は　100cm以上
両側方は　30cm以上
燃えやすいものから離してください。

⚠注意
必ず行う
毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、じょうぶで不燃性の敷板などを敷いて水平になるようにしてください。

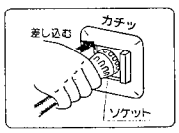
「コンセント継手」について

●『コンセント継手』方式のガス栓は、ガスコードなどを取り付けると、自動的に開栓し、取り外すと自動的に閉栓します。

〈取り付けかた〉

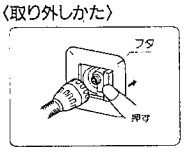


1. フタを開ける
ガスコードなどを接続するときは、まず、フタの右側を押し、フタを開けます。



2. 取り付ける
ガスコードなどのガス栓用ソケット側をコンセント継手に"カチッ"と音がするまで差し込みます。

〈取り外しかた〉



1. 取り外す
ソケットを外すときは右側にあるフタを押します。

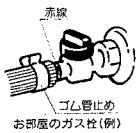
ガスの接続

⚠警告

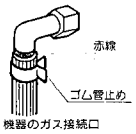
必ず行う　ガスの接続は、必ずガス用ゴム管かガスコード（小口径迅速継手付強化型小口径ガスホース）を使用してください。

●ガス用ゴム管接続の場合

- ガスの接続は、必ず内径9.5㎜のガス用ゴム管を使用してください。ビニール管は使用できません。
- ガス用ゴム管は、ガス栓・機器のガス接続口とも赤線までじゅうぶんに差し込んで、ゴム管止めでしっかり止めてください。
  ゴム管止めでしっかり止めていないと、知らずにはずれかかってガス漏れが生じることがあり危険です。



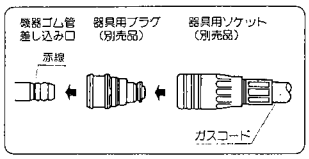
お部屋のガス栓（例）



機器のガス接続口

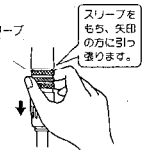
●ガスコード接続の場合

- この機器は、ゴム管差し込み口が、ゴム管接続用になっていますので、別売の「器具用プラグ」にてゴム管口をコンセント化する必要があります。
- 接続の方法は
  1.「器具用プラグ」（別売品）を、器具用プラグ梱包台紙の裏面に、記載してある取扱説明に従って、機器のゴム管口に取り付けます。
  2.「ガスコード」（別売品）の器具用ソケットを、器具用プラグに“カチッ”と音がするまで、じゅうぶんに押し込みます。
- ガスコードは、機器およびお部屋のガス栓（コンセント継手）とも“カチッ”と音がするまで、じゅうぶんに押し込み接続してください。



〈取り付けかた〉

〈取り外しかた〉



⚠警告

禁止
- ひびわれたりして古くなったガス用ゴム管・ガスコードは、使用しないでください。ガス漏れの原因になります。
- ガス用ゴム管・ガスコードの継ぎたしや、二又分岐は行わないでください。

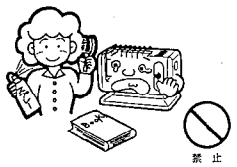
お願い
- ガス用ゴム管・ガスコードは、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短く接続してください。（ガス用ゴム管は3m以内、ガスコードはできるだけ2m以下で、長くても5m以下にしてください。）
- ガス用ゴム管・ガスコードは、機器の下を通したり、機器の高温部に触れないようにしてください。
- ガス用ゴム管・ガスコードは、他の部屋まで延長したり、壁・天井などを通したりしないでください。

使用方法

点火前の準備と確認

⚠警告

確認する　1 機器の近くにスプレーや燃えやすいものがないことを確認してください。



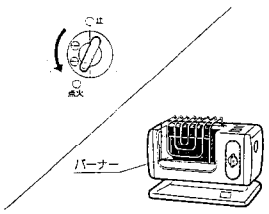
2 ガスの接続が確実であること、器具栓つまみが「止」になっていることを確かめ、お部屋のガス栓を全開にします。

お部屋のガス栓（例）

点火のしかた

器具栓つまみを点火の方向へ回します。

- 器具栓つまみを途中で止めずに点火の方向へゆっくりいっぱいに回します。
- 「カチッ」と音がして点火します。
- 点火を確認してから器具栓つまみを15秒程持ちつづけます。
- 器具栓つまみより手を離してからバーナーの着火（バーナー表面が赤熱します）を確かめてください。



バーナーに着火したことを確かめます。

お願い
- 点火の際は、ストーブに顔を近づけないでください。
- はじめて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。この場合は、空気が抜けるまで点火操作をくり返してください。
- 点火しなかったり、器具栓つまみから手を離したときバーナーの火が消えるときには、すぐに器具栓つまみを一旦「止」の位置に戻してからあらためて点火操作をくり返してください。
- この機器はガス量のしぼれない構造になっているため、器具栓つまみを点火操作の途中で止め、手を離すと「止」の方向へ戻ってしまいます。

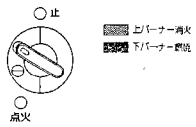
機器コード							増設工事	通し号数	訂正印
8	8	8	5	0	8	2	1 3	2 2	1

火力切替のしかた

点火後器具栓つまみより手を離しますと、全開「⊖」表示の状態になります。

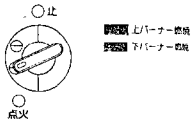
1 全開から半開にしてご使用の場合

- 器具栓つまみを半開「⊖」表示の位置に戻します。



2 半開から全開にしてご使用の場合

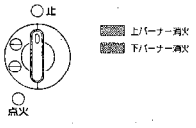
- 器具栓つまみを全開「◯」表示の位置にします。
- バーナーに着火し赤熱するのを確かめてください。



消火のしかた

器具栓つまみを「止」の位置へ戻します。

- 器具栓つまみを「止」の方向へいっぱいに回します。
- 「止」の位置へ戻ると消火します。必ず消火したことを確かめてください。



お願い
- はじめて使用されたとき、煙やにおいが出る場合がありますが、油などが焼けるためです。しばらく換気しながらご使用ください。
- ガス量をしぼると放射効果が落ちるばかりでなく、不完全燃焼を起こすおそれがありますので、ガス栓は全開でお使いください。

- 点火初期にバーナー上下の赤熱状態が違うことがありますが、数分後にほぼ同一になります。
- 点火初期に数分間燃焼音（ブーブー音）がする場合がありますが異常ではありません。
- 点火時や消火時に金属の伸縮音（ピチピチ音）がすることがありますが異常ではありません。
- 常時燃焼型パイロットバーナーを採用していますので、機器をご使用中はパイロットバーナーが燃焼し続け消火しません。

日常の点検とお手入れ

安全にお使いいただけるように、点検とお手入れは定期的に行いましょう。

⚠警告

分解禁止　- ガードや点検フタ以外は、絶対に分解しないでください。不適当な分解や、組み立ては思わぬ事故のもとになります。

日常の点検

●ゴム管・ガスコードは折れたり、ひびわれたりしていませんか?

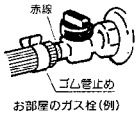
- ゴム管・ガスコードや接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水をつけ、泡がでないことを確認してください。

⚠警告

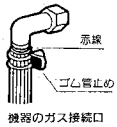
必ず行う　- ひびわれたり、差し込み部がゆるんだゴム管・ガスコードは、必ず取り替えてください。

●ゴム管・ガスコードは正しく接続されていますか?

- ゴム管はガス栓・機器のガス接続口とも赤線までじゅうぶんに差し込み、ゴム管止めで止めてください。



お部屋のガス栓（例）



機器のガス接続口

- ガスコードはガス栓・機器のガス接続口とも“カチッ”と音がするまでじゅうぶんに押し込み、接続してください。

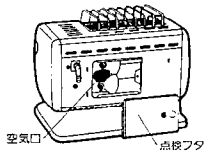
お願い
- 日常の点検・お手入れの際にはガス栓を閉じ、機器がじゅうぶんに冷えてから行ってください。
- 機器本体には安全に関するご注意ラベルが貼付してあります。汚れたり、読めなくなったときは、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようにご注意ください。
  もし、はがれたり読めなくなった場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの「東京ガス」で新しいラベルをお買い求めのうえ、貼り替えてください。

お手入れ

機器コード							燃焼号番	適用ガス番号	訂正番号
8	8	8	5	0	8	2	13	23	1

●バーナー空気口のお手入れ

シーズン初めのご使用前およびその後1ヵ月に1回程度、バーナー空気口（空気取り入れ部）にたまったほこりやごみなどを電気掃除機などで取り除いてください。



空気口は点検フタをはずし（ネジで固定してあります）掃除してください。

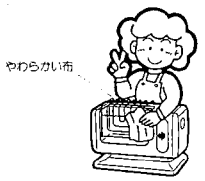
お願い

- 機器内部の部品は調整してありますので触れたり、変えたりしないでください。

●機器のお手入れ

汚れたらそのつどお手入れをしてください。

- やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってから拭いてください。
  特に汚れのひどいときには、やわらかい布に台所用中性洗剤をつけて拭き取ってください。



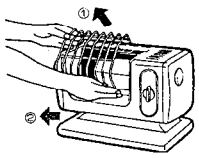
●反射板のお手入れ

反射板はガードをはずしてお手入れします。
お手入れを長期間しないとほこりがたまったり、暖房効果が悪くなります。

●ガードのはずし方

① ガード上部を持ち上げ手前へ引く。

② 左へいっぱい押して右側を手前に引くとはずせます。



お願い

- 機器・反射板のお手入れは、消火後機器がじゅうぶんに冷えたのを確かめてから行ってください。
- 化学ぞうきんやベンジン、シンナーなど揮発性のものは、絶対にご使用にならないでください。塗装の色があせたり、樹脂の部品が変色したりします。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ってもよく調べてみると故障でない場合もあります。修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

お調べいただくこと ＼ こんなとき	点火しない・点火しにくい	器具栓つまみから手を離すと消火する	ガスくさい	着火・火移りしにくい	爆発的に着火する	使用中に消火した、消火しやすい	バーナーがじゅうぶんに赤熱しない	点火時に「ポッ」という音がする	点・消火後「ピチピチ」という音がする	初めて使用するとき煙やにおいがでる	処置方法（理由）	参照ページ
ガス栓の開きわずれ	●										ガス栓を全開にする	12
ガス栓の開きが不じゅうぶん	●	●		●	●	●	●				ガス栓を全開にする	12
ゴム管・ガスコードの接続が不完全	●	●	●	●		●	●				ゴム管・ガスコードを確実に接続する	11
ゴム管・ガスコード内に空気が残っている	●	●		●							点火操作をくり返す	12
ゴム管・ガスコードの折れまがり、つぶれ	●	●		●		●	●				ゴム管・ガスコードの折れ、曲りを直す	11
ゴム管・ガスコードのひびわれ、穴あき	●	●	●	●		●	●				ゴム管・ガスコードを交換する	11
長時間換気をせずに使用している						●					部屋を換気する	3
バーナーの空気口にほこりが詰まっている						●	●				空気口の掃除をする	15
機器が転倒した						●					機器を起こす	17
器具栓つまみの操作が不じゅうぶん	●	●									器具栓つまみをいっぱいにまわす	12
器具栓つまみの保持時間が不足	●	●									器具栓つまみの保持時間を長くする	12
機器に強い風が当った						●					部屋の窓や戸を閉める	7
故障ではありません。								●			点火するときの音です	—
									●		機器内部の膨張・収縮音です	13
										●	しばらく換気しながら使用する（油などが焼けるためです）	13

⚠警告

禁止

絶対にお客様ご自身で修理なさらないでください。
不備がありますと、火災・感電などの原因になります。

- このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店、またはもよりの「東京ガス」にご連絡ください。

安全装置が作動したときの処置

使用中にバーナーが消火したときは、すぐに器具栓つまみを消火の状態に戻してガスを止め、さらにお部屋のガス栓も閉じて、安全装置が作動していないか調べてください。

安全装置	働き	原因	処置方法
立消え安全装置	使用中に炎が消えてしまったとき、ガスを止め生ガスの放出を防止します。	ゴム管を踏んだり、ガス栓の開きが少なかったときや、強い風が吹いたときなどにおこります。	点検後、再点火してください。
不完全燃焼防止装置	不完全燃焼をする前に、燃焼を停止します。	ガスが正しく燃えるためには、ガスの6～10倍もの空気が必要です。閉めきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。バーナーの空気口のほこりが詰まっても同様です。	じゅうぶんに部屋の換気を行い、バーナーの空気口部の掃除を行った後、再点火してください。（15ページ参照）
転倒時ガス遮断装置	機器が倒れたり、強い衝撃が加わったときに、ガスを止め消火します。	機器が倒れたときなどにおこります。	いったん器具栓つまみを「止」にし、再点火してください。

- 安全装置が作動した後、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくり返すような場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの「東京ガス」にご連絡ください。

保管とアフターサービス

保　管（長期間使用しない場合）

⚠注意

必ず行う

- ガス栓を閉じゴム管またはガスコードをガス栓から取りはずしてください。

●機器の点検・お手入れをしてから保管してください。

- 各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけてください。
- 特にガス接続口には、ほこりやごみが入ってガス通路を詰まらせないように、付属のキャップをしてください。
- 湿気やほこりの少ないところに保管してください。
- お求めになったときの箱に入れておかれると便利です。

アフターサービスについて

●サービスのお申し込み

18ページの「故障かな?と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。

⚠警告

禁止

確認のうえ、それでも不具合がある場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、またはもよりの「東京ガス」にご連絡ください。
そのままご使用になりますと、故障や感電・火災の原因になります。

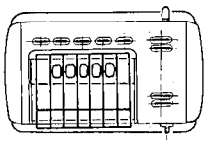
なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

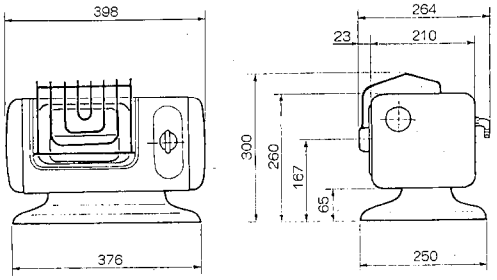
(1) 品　名……RN-015FN　機器コード 8885082
　　RN-015FY　機器コード 8883083
(2) 型　式　名……機器本体銘板に表示してあります。
(3) 現　象（できるだけ詳しく）
(4) お名前・ご住所・電話番号・道順（できるだけ詳しく）

寸法図

（単位：mm）

機器コード							機番	製造番号	製造番号	訂正番号
8	8	5	0	8	2		1	3	2	4	1





保証書

保証書

型式名	R-483PMS-101

品名 RN-015FN, RN-015FY ガス赤外線ストーブ

上記、機器をお買い求めいただきましてありがとうございます。この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用としてご使用になる場合、本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

(1)保証期間は上記品名の機器を お買い上げの日から3年間とし 機器本体を対象とします。
(2)万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。
(3)サービス員がまいした時に本証書をお示しください。
(4)保証期間中でありましても、次の場合には有料修理いたします。
(ア)取扱説明書にはらないでご使用になり故障した場合。
(イ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
(ウ)火災、天災、地震等による故障、その他不可抗力による故障。
(エ)お買い上げの販売店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障。
(オ)機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造される場合。ただし当社都合の場合はのぞきます。
(5)本証書を紛失された場合。
訪問修理などつきまして、サービス方法について、ご不明な場合はお買い上げの店またはもよりの東京ガス・お客さま・センターにお問い合せください。

保証責任者 東京ガス株式会社 〒105 東京都港区海岸1-5-20 電話 代表 03(3433)2111

修理記録

年月日	修理内容	サービス員印

お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成　年　月　日	
販売店名		扱者印
住所		
電話番号		

お客様へ
1. この保証書をお受取りになる時にお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保管とアフターサービス

●転居されるとき

⚠警告

連絡する

ガスには都市ガス13種類およびＬＰガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い上げの販売店、またはもよりの「東京ガス」にご連絡ください。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。

●転居にともなう調整や改造の費用は、保証期間内でも有料となります。

●保証について

取扱説明書の22ページが保証書になっています。

●保証期間中は
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について
お買い上げの販売店、またはもよりの「東京ガス」にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間について

●補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切後6年間となっています。なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●点検整備のおすすめ（有料）

●長期間、安全快適にご使用いただくために定期的に（3シーズンに1回程度）「点検整備」を受けられることをおすすめします。

●「点検整備」は、お買い上げの販売店、またはもよりの「東京ガス」にご用命ください。(有料)

●「点検整備」の内容は、下記の通りです。
① 機能部品の点検、確認
② 掃除整備

仕様

品名		RN-015FN, RN-015FY
型式名		R-483PMS-101
種類	設置の形態	すえ置形
	給排気方式	開放式
	放熱方式	放射式
点火方式		圧電点火式
暖房の目やす	一般木造	5畳まで
	鉄筋・断熱木造	8畳まで
外形寸法	高さ	300mm
	幅	398mm
	奥行	264mm
質量		4.7kg
ガス接続		9.5mmφガス用ゴム管
安全装置		不完全燃焼防止装置 立消え安全装置 転倒時ガス遮断装置
付属品		取扱説明書(保証書付)、事業所一覧

使用ガスグループ	品名	1時間当りのガス消費量
13 A	RN-015FN	2.09kW (1800kcal/h)
12 A	RN-015FY	2.09kW (1800kcal/h)